

令和5年度第4回市長定例記者会見

市長あいさつ及び説明要旨

令和6年2月16日

本日は、お忙しい中、お集まりいただき誠にありがとうございます。
また、平素から本市の施策推進に多大なご理解とご協力を賜っておりますことに対し、厚くお礼を申し上げます。

この度の「令和6年能登半島地震」により、亡くなられた方々に深く
哀悼の意を表しますとともに、被災された皆様方に対しまして、心より
お見舞いを申し上げます。

本市では、市役所本庁舎、南庁舎、各支局及び市民センターに義援金
の募金箱を設置するとともに、支援物資の搬送と支援ニーズなどの情報
収集、応援給水活動などのため、市職員を派遣いたしております。

また、市職員も被災地の一日も早い復旧・復興を願い、募金を行いました。

今後も、人材の派遣など被災地から求められる支援を積極的に行って
まいります。

それでは、令和6年度の施策につきましてご説明いたします。

令和6年度は、人口減少をはじめとする諸課題に向き合い、事業を強
力に推進するため、次の3本の柱を立て、市政を進めてまいります。

まず、一つ目の柱「移住・定住の推進」につきましては、本市に住み
続けたい人を一人でも多く増やすため、子育て支援をはじめ、医療・福

社・教育施策などを充実させてまいります。

次に、二つ目の柱「稼げる地場産業の振興」につきましては、市内産業の担い手確保に一層注力するとともに、デジタル技術を活用した生産性の向上や市内経済の活性化等に引き続き取り組んでまいります。

最後に、三つ目の柱「市民生活の安全安心と持続的発展」につきましては、市民の皆様が安心して生活できる環境づくりを進めるため、近年の激甚化・頻発化する自然災害に対し、迅速かつ的確に対応するとともに、引き続き、公共交通をはじめとする各種サービスの維持・確保及び脱炭素社会の実現に向けた一層の強化を図ってまいります。

これら重点施策のうち、新規事業などを中心に主なものにつきまして、ご説明いたします。

まず「学校給食費応援に一みんポイント事業」についてであります。

子育て世代の経済的負担を軽減し、児童生徒の健やかな成長を支えることを目的に、保護者が負担している小・中学校の学校給食費相当分の一みんポイントを付与することといたしました。

次に「新見市版「こども誰でも通園制度」事業」についてであります。

多様化する子育て環境の中、保護者の就労状況等により、入所要件を満たしていない世帯の子どもが、市内の公立保育所や認定こども園に通園できるよう、本市独自の制度として、4月から実施してまいります。

これらの事業は、令和5年11月に宣言した「こどもまんなか応援サ

ポーター宣言」の趣旨にのっとり、子どもたちが住みやすい、健やかで幸せに成長できるまちづくりを目指し、新たな子育て支援策として取り組むものであります。

次に、人口減少や人手不足があらゆる業界で全国的な課題となる中、本市においても、若者などの担い手確保に積極的に取り組んでまいります。

まず「移住定住奨励事業」についてであります。

新規学卒者やＩＪＵターンされた方が、市内に定住し、新たに市内の事業所又は通勤可能な市外の事業所へ就職した場合に、に一みんポイントを付与することといたします。

これは、これまでの「ふるさと定住支援金」と「ＩＪＵターン就職奨励金」を整理統合するものであります。

次に「市内就職奨励事業」についてであります。

本市における地元雇用の拡大や労働力の確保に向け、市内事業所に就職した新規学卒者とＩＪＵターンされた方へ、就職から１年経過ごとに、就職奨励として、に一みんポイントを付与いたします。最長３年間、付与してまいります。

なお、市内事業所に就職した市内高校・特別支援学校と新見公立大学の新規学卒者につきましては、地元定着の推進を目的として、就職時に奨励加算ポイントを付与することといたしております。

さらに、市内介護事業所へ介護職員として、また市内医療機関へ看護師として就職された方に、就職から１年経過ごとに、定着奨励金を給付

する事業を新たに創設いたします。両事業とも、最長5年間、給付してまいります。

これらの事業により、市内事業所に就職した新規学卒者につきましては、最大で110万円分を給付することとなります。これまでの就職奨励金を大幅に拡充いたしました。

次に「高校魅力化推進事業」についてであります。

市内高校の魅力向上を図るため、新たに三つの事業に取り組んでまいります。

まず「高等学校生徒資格取得助成金事業」として、市内の高校に通う生徒が、指定された資格を取得した場合、その取得に係る検定料などを助成いたします。

次に、市内唯一の県立高校である新見高校に対する支援として、「新見高校生徒部活動専門人材派遣事業」では、部活動に指導者等を派遣し、生徒がより高いレベルの指導を受けることで、技術向上などを図ってまいります。

「新見高校生徒留学支援事業」では、長期休業中に英語圏へ短期海外留学する費用の一部を助成することで、生徒の英語力の向上や将来の可能性が広がることを期待し支援してまいります。

これらの事業に取り組み、市内高校のさらなる魅力向上を図り、高校生が充実した学校生活を送ることができる体制を支援してまいります。

次に「鳥獣被害防止対策事業」についてであります。

有害鳥獣による農作物への被害を防止するため、特に被害が大きいイ

ノシシ、ニホンジカ及びニホンザルの「被害防除」と「捕獲」に対する取組について拡充し、効果的な被害防止対策を実施してまいります。

「有害鳥獣捕獲奨励補助金」では、イノシシとニホンジカの1頭当たりに対する補助金単価を増額するとともに、イノシシについては、対象期間を非狩猟期から通年に拡大いたします。

「サル被害防止複合対策」では、農地へのサルの侵入を防止する複合柵設置に必要な費用の助成事業を新設するとともに、動物位置情報システムを地域での追い払いや、農地の見回りなどに活用する体制整備に取り組み、被害防止対策を強化してまいります。

「動物駆逐用煙火支給事業」では、動物駆逐用煙火の支給回数を年2回から3回に拡充し、一層の農作物への被害軽減を図ってまいります。

次に「森林境界明確化事業」についてであります。

適切な森林整備を行うため、森林境界を明確にする必要があることから、地籍調査未実施の森林について、本年度構築する「新見市森林管理用GISシステム」や、既存の航空画像及び県が解析した航空レーザー解析データなどを基に、森林所有者に確認作業を行い、森林境界の明確化を推進してまいります。

次に「再造林促進事業」についてであります。

林業経営に関する関心を高め、再造林を促進し、次世代へ豊富な森林資源をつないでいくため、森林所有者が皆伐後に再造林を実施した場合に奨励金を交付いたします。

次に「林業資格取得支援事業」についてであります。

林業従事者の確保と育成を図るため、林業従事者に対し、資格取得に必要な講座の受講料や受験料などの経費の一部を助成してまいります。

次に「オリジナル I C O C A による地域活性化事業」についてであります。

「オリジナル I C O C A 啓発事業」では、キャッシュレス決済を新規導入する事業者の初期費用の支援と、加盟店ステッカーやのぼりなど啓発資材を活用した積極的な広報活動を展開してまいります。

さらに、「モバイル I C O C A 乗り換え推進事業」では、オリジナル I C O C A からモバイル I C O C A に乗り換えた場合、最大 1, 0 0 0 に一みんポイントを付与いたします。開始時期につきましては、準備が整い次第、お知らせしてまいります。

これらの事業により、キャッシュレス化の推進と利便性の向上を図ってまいります。

次に「森の芸術祭 晴れの国・岡山」関連事業についてであります。

9月28日から11月24日まで県北部で開催される「森の芸術祭 晴れの国・岡山」において、本市でも「満奇洞」に芸術作品が展示されます。

この機会を好機と捉え、満奇洞のある本市南東エリアを中心とした市内の観光・文化施設等へのツアーを企画したいと考えております。

さらに、大阪環状線を走る電車に芸術祭やA級グルメなど本市の観光資源をPRする車体広告を実施するなど、様々な事業で効果的な観光プロモーションに取り組み、本市への観光誘客の促進を図ってまいります。

次に「市役所本庁舎附属棟整備事業」についてであります。

令和5年3月から着手しておりました、防災の拠点となる本庁舎附属棟は、令和6年度、建設工事に着手し、年度末の完成を目指してまいります。また、消防庁舎建設工事も同じく、令和6年度末の完成を目指し進めており、これらの事業を着実に進め防災力の強化を図ってまいります。

次に「木造建築物耐震対策促進事業」についてであります。

地震などによる住宅の倒壊から生命・財産を守るため、高齢者等の住宅の居間や寝室への部分耐震改修、耐震シェルターや防災ベッドの設置費用を助成してまいります。

次に「道路愛護会活動支援事業」についてであります。

市道の維持管理のため、道路愛護会が実施する市道の草刈りや、側溝清掃等の環境美化活動に対する活動報償費を、燃料価格の高騰などに対応するため、増額し支給いたします。引き続き、道路愛護会の活動を支援するとともに、道路の安全性や快適性の向上及び生活環境の保全を図ってまいります。

以上、新規施策を中心に申し上げましたが、既存の事業も含めた一般会計当初予算総額は前年度比1.1%増の257億5,743万円を計上しております。

令和6年度は、子育て支援のさらなる充実と、担い手確保の強化に重点的に取り組むこととし、「未来に夢を！ にいみ de 子育て 就職 応

援予算」と命名いたしました。

各種施策を着実に進めることで、市民の皆様と地域が輝く、持続可能なまちを目指してまいります。

そして、本市は、令和7年3月に市制施行20周年の節目を迎えます。これまでの本市の歩みを振り返るとともに、本市の発展を支えてこられた多くの方に改めて感謝し、記念すべき年となるよう取り組んでまいりたいと考えております。

その他、今議会では、条例25件、予算17件、その他4件を提案いたします。令和5年度一般会計補正予算では、各種事業費などの確定等に伴い、総額1億2,731万円を減額しております。

私からは以上でございます。